

## 令和4年度第3回森町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和5年2月10日(金) 14:00～

場 所 森町公民館 1階大会議室

出席者 別添委員会名簿のとおり

概 要 以下のとおり

### 1. 開 会

### 2. 委員長挨拶

- ・長瀬副町長より挨拶。

※森町地域公共交通会議設置要綱（以下、要綱という。）第5条第2項により、委員長は森町副町長が務める。

### 3. 報告事項

#### ①実証運行利用状況集計報告

- ・ 別途資料により説明

【佐々木委員】 実証運行の車両の乗車可能人数は、利用者数に対し充足しているか、また、車両の乗り心地について、意見はあったか。

【事務局】 実証運行の車両は9人乗りのため、利用者数が9人を超過するようであれば、追加の車両を運行させている。

利用目的に買物利用が多く、荷物などを積む関係で、車室内が狭くなることが想定されるが、利用者から、車内が狭いなどの意見は特に寄せられていない状況である。

【佐々木委員】 複数回、利用している方を把握しているか。

【事務局】 個人の特定ができるような把握はしていないが、運転手からの情報では、利用者が概ね固定化してきた状況である。

【伊藤委員】 実際に利用してみて、気づいた点として、市街地内である程度の施設への移動ができるため、今後、市街地内でちょっとした距離の利用が増えるのではないかと期待している。

【事務局】 事務局側でも、市街地内の居住者の利用が増えることは期待しており、

今後も実証運行を継続して実施するため、市街地内の利用状況についても検証する。

【中澤委員】 市街地に居住する方の利用は含まれているのか、また、車両サイズを現状のものよりも、大きくする予定はあるか。

【事務局】 濁川線及び駒ヶ岳・赤井川線のどちらの利用者数にも、市街地に居住する方の利用は含まれている。

現状の車両に乗り切れない場合には、追加で車両を運行しており、現時点では、車両サイズの変更は想定していない。

【深川委員】 利用者にとって、今後、運賃が有償となるか、無償のまま継続するかは、気になると思う。

【事務局】 ご発言の通りと認識しており、本日の議事でお諮りさせていただく。

#### 4. 議 事

##### ①今後の運行形態について（協議事項）

- ・ 別途資料により説明

【酒井委員】 自家用有償旅客運送及びフィーダー補助申請に係るスケジュールは、資料中にお示しいただいた通りであるが、運輸支局内部でも確認のためのお時間をいただきたいため、早めに申請書を提出いただけると有り難い。

【事務局】 ご助言の通り、早めの提出を心がける。

【佐々木委員】 利用者側からすると安い方が良いと思われるが、町民意見も踏まえられた（案）となっていると思う。収支のバランスが重要であるため、実際に本格運行した場合の収支シミュレーションなどを実施すると良い

【事務局】 現状で具体的な想定収支は持ち合わせていないが、有償運行の実証により、明らかになると認識している。また、運行に係る予算は計上しているため、収支バランスの検証も今後、実施する。

【佐々木委員】 資料中の回数券の仕様で、決まっているものはあるか。

【事務局】 現時点では、内容は決まっていない状況である。

【中澤委員】 すでにタクシー助成券が特定の利用者に配布されているが、既存のものとは別の形態になるのか、一括で同じような形態とするか、現時点で想定しているものはあるか。

- 【事務局】 現時点では、内容は決まっていない状況である。
- 【深川委員】 地域間移動において運賃300円を設定しているが、これくらいであれば、継続して利用いただけそうか、という判断か。
- 【事務局】 収入を目的とした運賃の設定ではないため、設定根拠にあるように、住民意見や近隣自治体事例、函館バス運賃を参考に設定しており、一定の利用は見込めるものと考えている。
- 【深川委員】 資料中の特定利用者割引対象となる高齢者は何歳以上としているか
- 【事務局】 現時点では、内容は決まっていない状況である。
- 【酒井委員】 現段階では利用者数は安定していると認識しているが、有償化した場合、極端に利用者数が少なくなるケースもあるため、利用者意見は継続して聴取いただき、利用者数を維持できると良い。
- 【事務局】 ご助言の通り、利用者との対話機会を重要視する。
- 【伊藤委員】 足腰が弱い方は、公共交通は利用できないため、公共交通は福祉サービスとして提供されることが望ましい。  
運賃については、事務局（案）の金額設定で妥当と思う。
- 【事務局】 ご発言内容について、承知した。
- 【横山委員】 公共交通バス運行については、サービスレベルが高いため、函館バス運賃と比較するのは、運賃設定の根拠とするのは、望ましくないのではないか。
- 【事務局】 いただいた内容の通り、資料修正を実施する。
- 【委員長】 為国先生より、ここまでの議論内容を踏まえ、運賃設定など、ご助言をいただけないか。
- 【為国先生】 町民の方が関心を持ってくれ、様々な意見が寄せられており、喜ばしいことであり、利用者数も予想以上に利用していただいていると思っている。  
運賃設定についても、事務局（案）であれば、大きく利用者数は減らないと思っている。  
今後は、国の補助を受けながら、持続可能な運行が成されることが重要であるため、非常に活発にご議論いただいている交通会議の議論状況を継続し、今後も改善・見直しに向けて、ご協力いただけると幸いである。

【委員 長】 ここまでの議論を踏まえ、運賃について、資料内容の金額（案）でも進め  
てもよいか。

【会議委員】 異議なし。

※会議委員の全員の承認をもって、資料の運賃設定（案）を進めることで合意

### ③NPO法人まちづくり支援センター 代表理事 為国 孝敏 氏 総括

・先程の話と重複する部分もあるが、今後も改善・見直しに向けて、ご協力いただくと幸いである

## 4. その他

【事務局】 次回の交通会議は、5月下旬～6月上旬を予定し、必要な情報提供等があれば、適宜、実施させていただく。

## 5. 閉会